

博多湾環境保全計画（第2次）モニタリング調査項目・結果一覧

海 域	項 目		目 標 値	現状値 ^{※1} H26年度	結果 H28年度	結果 H29年度	結果 H30年度	結果 R元年度	結果 R2年度	
博多湾全域	環境基準達成率	COD	100%	62.5%	62.5%	50%	37.5%	25%	50%	
		T-N		100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		T-P		100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	赤潮発生件数		現状値より減少	8件	10件	3件	2件	5件	3件	
岩礁海域	透明度		現状維持	2.4～6.2m ^{※2}	2.5～6.3m ^{※2}	2.5～6.9m ^{※2}	2.5～8.3m ^{※2}	2.2～6.6m ^{※2}	2.6～8.2m ^{※2}	
	藻場の造成箇所数		現状値より増加	1 地区	2 地区	1 地区	1 地区	※3	※3	
	海藻類の種類	今津	現状値より増加	63種	59種	58種	55種	58種	55種	
		能古島		53種	50種	49種	49種	49種	49種	
		志賀島		54種	57種	56種	57種	57種	54種	
	藻場で生息する稚仔魚等		継続して確認	－	－	宮浦 46種	宮浦 49種	継続して確認	継続して確認	
						唐泊 54種	大岳 51種			
小戸 34種						西戸崎 42種				
干潟域	和白干潟の干潟生物	種数	現状維持	13～38種 ^{※4}	16～42種 ^{※4}	13～43種 ^{※4}	14～41種 ^{※4}	12～41種 ^{※4}	15～38種 ^{※4}	
		個体数		838～ 8,426個体/㎡ ^{※4}	1,161～ 27,984個体/㎡ ^{※4}	1,268～ 22,993個体/㎡ ^{※4}	979～ 6,671個体/㎡ ^{※4}	1,065～ 8,178個体/㎡ ^{※4}	850～ 8,191個体/㎡ ^{※4}	
		湿重量		48.2～ 1,748.61g/㎡ ^{※4}	164.57～ 2,469.55g/㎡ ^{※4}	199.29～ 1,388.65g/㎡ ^{※4}	15.57～ 1,879.89g/㎡ ^{※4}	5.33～ 2,778.52g/㎡ ^{※4}	99.9～ 1,249.04g/㎡ ^{※4}	
	カブトガニ	産卵数	休憩所前	現状維持	11卵塊	9卵塊	20卵塊	25卵塊	18卵塊	30卵塊
			瑞梅寺川 江の口川河口		27卵塊	24卵塊	35卵塊	25卵塊	9卵塊	15卵塊
		幼生数 (確認地点数)	休憩所前		25箇所	8箇所	45箇所	55箇所	23箇所	37箇所
			瑞梅寺川 江の口川河口		11箇所	4箇所	24箇所	26箇所	16箇所	2箇所
		亜成体の個体数			29個体	65個体	27個体	56個体	89個体	39個体
		成体の個体数			23個体	78個体	42個体	76個体	338個体	214個体
		室見川河口干潟の アサリ	稚貝の個体数		現状値より増加	2,765.8～ 3,397.5万個体 ^{※5}	3,269.0～ 13,248.3万個体 ^{※5}	12,632.5～ 36,334.5万個体 ^{※5}	1,743.4～ 25,381.2万個体 ^{※5}	1,091.7～ 13,097.3万個体 ^{※5}
	成貝の個体数		1.6～ 32.9万個体 ^{※5}	28.8～ 610.2万個体 ^{※5}		288.9～ 767.6万個体 ^{※5}	701.6～ 1,570.0万個体 ^{※5}	173.3～ 527.1万個体 ^{※5}	105.9～ 120.7万個体 ^{※5}	
	アサリ生産量		100トン	11トン	25トン	20トン	30トン	20トン	7トン	

※1 現状値については、第二次計画策定時点の現状値として、平成26年度とする。

※2 各地点の年平均値の最小～最大

※3 小呂島で造成を実施（博多湾内ではないため、計上せず）

※4 各地点・各季の最小～最大

※5 各季の最小～最大

海 域	項目		目標値	現状値 H26年度	結果 H28年度	結果 H29年度	結果 H30年度	結果 R元年度	結果 R2年度	
砂 浜 海 岸	海浜地ごみ回収量		現状維持	702トン	630トン	454トン	1,346トン	451トン	429トン	
	ラブアース・クリーンアップ参加者数		現状値より増加	36,682人	37,590人	44,415人	45,476人	43,809人	7,695人※6	
	水浴場水質判定	遊泳期間前	水質A以上 ：全地点	5地点/5地点	5地点/5地点	5地点/5地点	1地点/5地点	3地点/5地点	5地点/5地点	
		遊泳期間中		1地点/5地点	4地点/5地点	4地点/5地点	1地点/5地点	2地点/5地点	3地点/5地点	
	百道浜来客数		現状値より増加	121万人	167万人	163万人	160万人	171万人	191万人	
浅 海 域	貧酸素水塊		発生地点数	現状値より減少	12地点/16地点	14地点/16地点	15地点/16地点	12地点/16地点	14地点/16地点	12地点/16地点
	底生生物		種数	現状維持	5～30種※7	5～42種※7	10～39種※7	15～41種※7	6～60種※7	8～48種※7
			個体数		355～ 6,291個体/㎡※7	173～ 4,482個体/㎡※7	546～ 12,826個体/㎡※7	1,648～ 13,271個体/㎡※7	553～ 17,482個体/㎡※7	833～ 16,736個体/㎡※7
			湿重量		2.2～ 147.68g/㎡※7	7.67～ 93.87g/㎡※7	9.93～ 142.06g/㎡※7	43.20～ 190.96g/㎡※7	4.87～ 220.82g/㎡※7	18.27～ 170.95g/㎡※7
	アマモ場で 生息する 稚仔魚等	出現種数	能古島	現状維持	13種	18種	28種	16種	19種	21種
			志賀島		21種	25種	25種	26種	35種	26種
		個体数	能古島		約180個体	約290個体	約390個体	約230個体	約310個体	約130個体
			志賀島		約1,000個体	約440個体	約260個体	約5,200個体	約490個体	約2,200個体
	港 湾 域	浮遊ごみ回収量		現状維持	172トン	139トン	65トン	115トン	47トン	43トン
	そ の 他	魚類		稚仔魚・成魚が いずれも継続 して確認	魚類を確認※8	未調査	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認
カブトガニ		連続した世代が 継続して確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認		
アサリ		幼生が継続して確認 稚貝と成貝の個体数 が増加	幼生を確認	・幼生を連続して確認 ・稚貝と成貝は6月に 増加、11月に減少	・幼生を連続して 確認 ・稚貝と成貝は6月に 増加、11月にさらに増加	・幼生を連続して 確認 ・稚貝は5月は高値を維持 10月に大幅な減少 ・成貝は5月に大幅な増加 10月にやや減少	・幼生を継続して確認 ・稚貝は5月に減少 11月に増加 ・成貝は5月に減少 11月にさらに減少	・幼生を継続して確認 ・稚貝は6月に減少 10月に増加 ・成貝は6月に減少 10月にさらに減少		

※6 支援をおこなった自主的な清掃の参加人数

※7 貧酸素発生地点における各地点・各季の最小～最大

※8 アマモ場周辺での結果（稚仔魚・成魚の区別は不明）